

酒田市特別名誉市民が 故相馬大作氏に贈られることに決まりました

市議会9月定例会で、故相馬大作氏が酒田市特別名誉市民に推挙され、同意されました。

酒田市名誉市民および故人を対象とした特別名誉市民は、社会の発展および文化の興隆に貢献し、等しく郷土の誇りとして市民から深く尊敬されている方に、その功績と栄誉をたたえ贈られます。

功 績

相馬大作氏は、昭和4年2月15日、本市に生まれ、酒田中学校（現 酒田東高等学校）、早稲田大学第一商学部を卒業、国会議員秘書を経て、昭和46年5月に酒田市長に就任されました。以来、平成3年5月まで連続5期20年の永きにわたり、常に時代を見据え、今日の本市の礎となる数々の事業を推進、達成して来られました。

特に、酒田北港建設の早期完成に向けて全力を傾けた取り組みは、県内唯一の貿易港の機能拡充にとどまらず、後の東方水上シルクロードの開設にも繋がり、酒田港は大きな発展を遂げました。

また当時、困難と考えられてきた県内2空港の実現に向けて取り組み、庄内空港建設の大きな原動力となられるとともに、東北横断自動車道酒田線の早期建設に向けても、積極的な陳情活動を展開し「陸の孤島」といわれたこの地域の高速交通網を整備し、市民の生活向上や産業活性化に大きな功績を残しました。

企業や観光施設の誘致にも積極的に取り組み、東北エプソン株式会社や株式会社本間ゴルフ、簡易保険総合レクリエーションセンターを誘致するとともに、本市出身の写真家 土門拳氏をたたえる世界でも例を見ない写真美術館を完成させるなど、地域の雇用創出や交流人口の

拡大に向けた事業を展開されました。

さらに旧村単位にあった農業協同組合合併の仲介や、農村基盤整備パイロット事業の完成など、農業の経営基盤の強化と農村環境整備に力を注ぎ、また来るべき高齢化社会を見据え、全国的にも先進的な草の根福祉ネットワーク事業を着実に推進されるなど、その功績は各分野にわたっています。

そして、忘れてならないのは、昭和51年10月に発生した酒田市大火への被災直後の対応から災害復興までの連日連夜の取り組みです。被災直後の市民の動揺を抑えるべく、現状をすばやく伝えるために発行した広報さかた災害速報とその後の復興速報は、迅速な復興を目指す全市民にとって大きな役割を果たしました。また国・県との連携を図りながら防災都市づくりを目指し、全市民が一丸となり、わずか2年半という短期間に復興事業を成し遂げたその手法は、非常に高く評価され、阪神・淡路大震災の復興に際してのまちづくりの参考として大いに役立ったといわれています。

このように、本市の発展に大きく貢献した相馬氏の生前の功績と、各層からの厚い信望を得たその人物像は、市民の誇りとするものです。

故相馬 大作氏

生年月日／昭和 4年2月15日
 没年月日／平成26年8月21日
 享年／85歳
 本籍／東京都杉並区
 功績／地方自治功勞



▲写真は写真家の三木淳氏が撮影したものです。

経歴

- | | | | |
|----------|---------------------------|----------|-----------------|
| 昭和22年 3月 | 山形県立酒田中学校(現山形県立酒田東高等学校)卒業 | 昭和56年10月 | 全国市長会理事 |
| 25年10月 | 衆議院議員秘書 | 58年 8月 | 全国市長会港湾都市協議会副会長 |
| 29年 3月 | 早稲田大学第一商学部卒業 | 61年11月 | 全国史跡整備市町村協議会副会長 |
| 46年 5月 | 酒田市長(5期20年) | 平成 3年 5月 | 酒田市長退任 |
| 46年 5月 | 酒田港湾振興会会長、山形県港湾協会副会長 | 3年 7月 | 酒田港湾振興会名誉会長 |
| 50年10月 | 社団法人日本港湾協会日本海六県支部連合会会長 | 3年 7月 | 山形県港湾協会顧問 |
| 50年10月 | 社団法人日本港湾協会理事 | 3年 9月 | 財団法人土門拳記念館理事長 |
| 56年10月 | 山形県市長会副会長 | 23年10月 | 財団法人土門拳記念館顧問 |

受賞歴

- | | | | |
|----------|----------------------|----------|-----------------|
| 昭和58年 5月 | 日本港湾協会会長表彰(港湾整備拡充功勞) | 平成 3年 7月 | 運輸大臣表彰(港湾海事功勞) |
| 59年10月 | 法務大臣表彰(戸籍制度功勞) | 4年 4月 | 藍綬褒章受章(地方自治功績) |
| 62年 8月 | 日本赤十字社金色有功章(赤十字功勞) | 20年 4月 | 旭日中綬章受章(地方自治功勞) |



S47.6.17出羽大橋開通式



S49.11.1酒田北港開港祝賀式典



酒田市大火後、林消防長官を団長とする政府調査団と相馬市長



S54.5.19酒田市大火復興式典



S58.10.1土門拳記念館オープン式典



H2.7.26中国唐山市との友好都市締結調印式



H20.7.26旭日中綬章・叙勲受章祝賀会



市広報H25.6.1号特集の取材に応える相馬氏

これまで贈られた方々

名誉市民

- 昭和49年 土門 拳氏(文化の振興)
- 昭和62年 加藤 千恵氏(文化の振興)
- 昭和62年 原 のぶ子氏(文化の振興)
- 平成15年 中村 恒也氏(産業発展、科学技術振興)
- 平成16年 新田 嘉一氏(産業発展、教育文化振興等)

特別名誉市民

- 昭和62年 前田 巖氏(自治功勞、社会福祉、産業振興等)